

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

2026～2027年度RI会長メッセージ

WEEKLY REPORT

SEPTEMBER.9.2026 第2198回

UEDA EAST 上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長／田守正彦 幹事／水出博史 会報委員長／柳澤 誠

例会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F

TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>

E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

小説「独鈷山」映画化に向けて



映画監督 野村 展代様

皆様こんにちは。本日はお招きいただき有り難うございます。映画監督／プロデューサーの野村展代と申します。よろしくお願い致します。

私はこの春、2026年4月に上田市に転入して参りました。短大を卒業後、生命保険会社勤務を経て映画制作会社に入社し、小規模映像作品のプロデューサー業を中心に活動してきました。長らく東京在住でしたが、自身が監督するドキュメンタリー映画の取材対象者が上田市にいらっしゃることから、3年ほど前から別所温泉と野倉に通うようになり、そのまま移住しました。

ちょうど上田に通うようになった頃に最初の乳がんを患い、2年後に再発、手術を経て抗がん剤治療をしながら撮影と移住準備を進め、移住直後に東京の先輩プロデューサーから「ちょっと見てほしい企画があるのだけど」と渡された資料が、この映画化に向けたプロジェクトであったという偶然から始まりました。

最初は「独鈷山？よく通る道から見えるあの山かな？」くらいしか認識がなく、地域の区別も分からずといった状況でしたが、原作を読みその素朴な内容に惹かれ、以前に監督を務めておられた神山征二郎さんが書かれた脚本も拝読し、現場のお手伝いを引き受けるつもりで打ち合わせに参加しました。その後、話が二転三転し…諸事情から神山監督が降板され、私が監督として企画遂行を継続することとなり、現在に至ります。

小説「独鈷山」映画化を進める会の皆様と話し合いを進め、新たなテーマを創出し、地元である塩田地域を中心に長野県内の企業を訪問させていただいております。

ご協賛をお願いすると共に、この映画をCSRにお役立てくださいという提案をさせていただき、おかげさまで多くのご協力、ご賛同をいただきまして、この冬から始まる撮影の資金準備を進めているところです。

この度「進める会」の皆さんと創出しましたテーマは「地域社会と映画の協業」ということです。企画や撮影から映画に参加していただき、「観て楽しむ」を超えて

「作る楽しさ」を味わっていただきたいと思います。そしてそれは企業内の連携や、企業と地域社会の連携にも繋がっていくという事をお伝えしているところです。

上田市は「信州うえだフィルムコミッション」の活動が盛んであります。諸事情により昨今は大規模ロケの受け入れ態勢は取れていないと説明を受けておりますが、私は一製作者として他の都市の事情も見ておりますので、やはり上田市は比較的体制が整っていると感じております。が、競争の激しい撮影業界において、他には無いようなブランディングの必要性も感じており、今回の企画はそのテストケースとしてもかなりの好機だと思っております。

原作、脚本、監督、そして現場の大柱となる「進める会」、これら全てが上田の人で成り立っているという稀な、というか商業作品では他に例がないのではないのでしょうか。地域の方々にとっては、映画を観るだけに留まらず「創る」に参加ができ、自分ごととしての思い出やキャリアの育成にもなり得、通常のロケ誘致以上のメリットを感じていただければ、という思いで日々活動しております。

映画は撮影以前から新聞等で話題に上がり、撮影が終われば劇場公開に向けて宣伝活動を展開します。その際に地域と企業が作品とコラボレーション出来れば、これはご協力いただける企業、団体の広域宣伝や地域資源ブランド化のチャンスになると言えます。

そして、今回のような作品は通常の商業作品に比べ小規模とはなりますが、経済効果も期待でき、短期間ですが、スタッフ・キャストのべ600人程度の県外からの宿泊者があり、食事代などおよそ1,000万円を超える経費を地域に還元できる見込みです。小規模作品でこの状況ですので、企画自体のブランディングに成功すれば、今後は上田市全体の経済効果アップを図る一因になればと考え、試行錯誤の毎日です。

そして最後に映画の内容のことも…。

オリジナルの要素も加え、かつての良き思い出のみならず、希望の再スタートを感じさせる内容にしました。ぜひいろいろな形でご賛同いただけましたら嬉しいです。

- 司 会 橋詰洋平君
- 斉 唱 「四つのテスト」
- ゲ ス ト 野村展代様(映画監督)
増田芳希さん(ご家族)
- ラッキー賞 中嶋大介君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 高野智宏君(関君より胡桃のお菓子)
滝澤修一君(蓑輪君より魚沼産コシヒカリ新米)
山寺高太郎君、母袋創一君、神津健君
(倉島君よりチョコのお菓子)
倉島「娘の結婚式に向け10kg減量。食べられなかった好物です。」



■会長挨拶

田守 正彦 会長

今日は「ロボットと私たちの仕事」についてお話したいと思います。ロボットというと、鉄腕アトムのような人間の姿をしたものを想像される方も多いと思います。ところが、現在の日本で本当に活躍しているロボットは、意外と地味な姿をしています。

例えば、私の仕事にも関係する「お掃除ロボット」です。家庭用だけではなく。ホテルや商業施設、オフィスなどでは、大型の清掃ロボットが自分で周囲を判断しながら床を掃除しています。レストランへ行けば、ネコ型の配膳ロボットが料理を運んできます。工場では、溶接、塗装、組み立てをする産業用ロボット。物流倉庫では、商品や部品を運ぶ搬送ロボット。病院では、薬や医療器具を運ぶロボット。商業施設では、警備や案内をするロボットまで登場しています。つまりロボットは、もう「未来の機械」ではありません。すでに私たちの隣で働く「仕事仲間」になり始めています。

では、これから10年後を考えてみたいと思います。私たちの仕事は、ロボットに奪われてしまうのでしょうか。私は、「仕事がなくなる」というよりも、「仕事の中身が変わる」と考えています。例えば清掃の仕事なら、広い床を掃除するのはロボット。人間は、ロボットが苦手な細かい場所を仕上げたり、清掃の品質を確認したり、お客様の要望を聞いたりする。介護施設なら、重いものを運ぶのはロボット。しかし、利用者の顔を見て、「今日は少し元気ありませんね」と声をかけるのは人間です。飲食店でも、料理を運ぶのはロボットになっても、「今日はお誕生日ですか。おめでとうございます」と言ってお客様を笑顔にするのは、人間ではないでしょうか。つまり、これから大切になるのは、「人間かロ

ボットか」ではなく、「人間とロボットが、何を分担するか」という考え方だと思います。

そこで皆さんにも、一つ考えていただきたいと思います。「自分の仕事の中で、ロボットやAIに任せられる仕事は何でしょうか。」そして、もう一つ。「自分にしかできない仕事は何でしょうか。」お客様の話を聞く。相手の表情から気持ちを察する。困っている人に声をかける。長い時間をかけて信用を築く。そして、人と人をつなぐ。技術が進歩すればするほど、こうした人間にしかできない仕事の価値は、むしろ高くなるのではないのでしょうか。10年後に必要とされるのは、ロボットより速く働く人ではありません。ロボットやAIを上手に使いながら、人間にしかできない価値を生み出せる人。そんな人ではないかと思います。

そして、その第一歩は「人を知ること」です。相手を知る。話を聞く。そして、お互いを知る。ロボットが身近になる時代だからこそ、私たちは人と人とのつながりを、これまで以上に大切にしていきたいと思います。

■幹事報告

水出 博史 幹事

- ・9月のロータリーレート 1\$=160円 (←162円)
- ・社協合併20周年記念上田福祉大会への協賛依頼が届く。

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	48	15	—	68.75%
前々回	52	47	19	13	87.23%

ニコニコBOX

(敬称略)

飯島 (洋)、石井、工藤、久保、倉島、神津、後藤、小林佐藤、塩之入、春原、関、高野、滝澤 (修)、竹花、玉井田守、塚田、中嶋、橋詰 (洋)、舟見、増田、水出、蓑輪母袋 (創)、母袋 (卓)、柳澤亨、柳澤誠、山寺、渡辺
※母袋創一君/野村監督ようこそ！会員皆様にもご支援方、ひとえにお願い致します。

※増田篤子君/野村監督ようこそいらして下さいました。
※倉島 博君/長女早紀の結婚式に際し、心温まる祝電を頂戴し誠にありがとうございました。

※久保友幸君/倉島さんの娘さんもお結婚されたようですが、実は私も先日結婚しました。

※小林正人君/上原さん、新たに事務所・倉庫の取得、誠におめでとうございます。

※後藤正直君/上原さん、新社屋移転おめでとうございます。連日の雨降りで仕事ストップです。

※神津 健君/本日は救急の日です。季節も変わり目、体調に気をつけましょう。

※母袋卓郎君/全国で線状降水帯が発生しています。災害列島、常に非常時に備えましょう！

本日の金額/52,000円 累計/352,000円